

後宮出家

受戒灌頂
佛入

後宮ノ出家ハ、聖武天皇ノ皇后藤原安宿媛ニ始マリテ、其事蹟多端ナレド、殊ニ例外ナルモノハ、奉事セル天皇ノ在位中ニ出家スルト、出家シテ後ニ再ビ入内スルモノトス、其出家ノ後ニ再ビ入内スル事アリシハ、婦人ノ出家ハ、多クハ額髮ヲ剃ルニ止マルニ由レリ、故ニ初ニ額髮ヲ剃リテ尼ト爲リ、後ニ全剃シテ圓顱ト爲ルモノアリ、奉事セル上皇ノ出家ノ後ニ、俱ニ出家スルモノハ其例少カラズ、

信佛教而出家

〔東大寺要錄一〕或日記云、天平廿年戊子正月八日、天皇并后○聖武后藤原安宿媛御出家、四月八日受菩薩戒、

〔兵範記〕仁安三年十月九日丁酉、今夜中宮○二條后藤原育子御遁世、御年廿三、去永萬年中、二條院崩御以後、

雖有此御願、先帝○六條在位、幼主同興之間、于今遲々、既當此時、令途素懷給云々、下官雖有御傍親好、

依神事奉行不能參入、于時御坐于高倉殿、戒師宇治大僧正覺忠、唄師法印全玄、剃除法印道圓、戒師

唄師有施物云々、御名真如覺云々、今日事大進光長奉行云々、

〔百練抄六七條〕仁安三年十月廿二日、中宮育子出家、

〔續日本後紀二十〕嘉祥三年三月辛丑、嵯峨太皇太后○嵯峨后藤原嘉智子依病入道、

〔百練抄一四條〕正曆二年四月二日、太皇太后○圓融后藤原融子三條第燒亡、御式曹司○六月遷東三條南院、火事之後造營也、九月

十六日、太皇太后依御惱於式曹司出家、即號東三條院、天皇行幸、

〔女院小傳〕九條院藤原近衛后○中久壽二、八、十五、爲尼○御惱、年廿五、清淨觀、

〔山槐記〕永曆元年八月十九日甲子、今曉中宮○二條后藤原鳥羽皇女依御惱危急、有御出家云々、院○後去夜有

御幸、曉天還御云々、先々此事御發心之由、粗有其聞○中御年廿云々、大悲事也、自去春比不入御禁

裏、御白河押小路殿也、

由疾病出家